



発行：相模原災害ボランティアネットワーク  
 連絡所：相模原市中央区富士見6丁目1番20号  
 TEL：042（786）6181

ホームページ：<http://ssvn.jimdo.com/>  
 相模原市社会福祉協議会中央ボランティアセンター  
 FAX：042（786）6182

**2018 年度定期総会**

平成 30 年北海道胆振東部地震と台風 21 号でお亡くなりになった方々のご冥福をお祈りいたします。また被災された皆様にはお見舞いを申し上げますと共に、関東地方には直接被害が降り懸からないとは誰もが言い切れることはできません。なぜなら、昔から「災害は忘れた頃にやってくる」と言われていますが、近頃は頻繁に起きている天災の悲惨なニューを目の当りにすると身の引き締る想いです。



さてこの度、相模原災害ボランティアネットワークの 2018 年度定期総会で微力ですが再び代表の責務を仰せつかりました。会員の皆様には、様々な活動を今まで同様、より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

なお、会員の皆様におかれましては、昨年度より懸念されておりました会員のスキルアップ研修を実施する事となりました。

テーマは、「地区防災計画について」と題して、

相模原市 22 地区が作成した「地区防災計画」の内容で地域住民にどのように広報・啓発されているか、又、今後の課題について考えるものです。一人でも多くの会員の皆様の参加をお願いします。

又、新会員の入会の呼びかけも重ねてお願いします。

相模原災害ボランティアネットワーク  
 代表 中村吉和

**市民桜まつりに参加して**

2018 年度市民桜まつりが 4 月 7 日（土）、8 日（日）に行われた。今回も晴天に恵まれるも桜の花は散り終えた感であった。SSV 出店テントの場所は、市体育館駐車場入り口近くで活動しやすい場所であった。この広場には銀河連邦の市・町が参加され郷土の名産品、料理等が出店し賑わっていて福祉関連商品が並ぶ出店もあった。今年も SSV が扱う商品はドリップコーヒー（100 円）と炊出しうどん（200 円）で毎年好評でリピーターも来店される程になって来た。



今年は桜の開花が早く花が散ったためか人出は少なかったようで、炊出しうどんに補給する水汲みも苦勞することなくできた。

2 日間の活動は、初日の朝 8 時から準備とうどんの解凍や出し汁作り等の作業、11 時頃から来る来店者への販売（開店は 13 時）等、17 時まで続く、後片付けしテントを下げ 1 日目は終了、2 日目は 8 時に集合しテントを上げ準備を始め 9 時開店、午前中はコーヒーが主で昼近くからうどんが忙しくなり、販売の結果は完売で終了した。今年も人員不足をひよこ保育園の関係者の方の協力で乗り切れたが、一部の会員に負担が係らないよう会員の方に参加協力をお願いします。

2 日間協力を頂いた会員の方にお礼を申し上げます。

岩田 弘

## 相模原市総合防災訓練

9月2日、九都県市合同防災訓練相模原市総合防災訓練が相模原補給廠返還跡地で行われました。前日の準備8時から11時まで行い、当日は7時30分に展示機材を搬送し会場へ行き、生活用品・非常食・減災用品・仮設トイレ展示品・家具の転倒防止用品・ブレーカー遮断品・ガラス飛散フィルム・衛生用品等の展示を8時30分までに終了させました。市からの要請の災害ボランティア受



入れ訓練は、ボランティアを8時30分から受け入れ、ボランティア活動ニーズの案内所でのチラシ配布と給水配布の2ヶ所に送り出し、9時からの来場者の入場に合わせ活動を始めました。当日の天候は小雨模様で9時頃の来場者はまばらで10時の防災訓練開始に多くなってきた。ボランティアセンターテントの展示品を見に来てくれる方は高齢者が多く、若い方は関心が薄いのか素通りが多いように思いました。又、生活用品の備蓄・減災対策に実施のアンケートを50枚用意し、設問に記入してもらいましたが災害の備えは出来ていないようです。ボランティアセンター活動は、参加者数が少なく1時間30分の交代が出来ず一部の方に3時間の活動をお願いしました。幸いに雨天のための心配がなかったこと、熱中症の心配がなかつ

たこと、来場者も少なかったこともあって何事もなく終了しました。

雨でぬれたテントは、4日・5日とも台風21号のため天候が悪く、6日午前中に市社協の多くの方に協力を頂きテント干しをして終了しました。他方では、地区訓練会場に指定された地区の防災訓練の他に市の防災訓練に合わせて訓練を計画実施した地区や雨天で中止した地区もあったようです。自主的な地区の訓練は、地区防

災計画に基づき企画されていると思いますがこれらの訓練は地区の「自助・共助」の防災力を高めるものと思います。左の写真は新磯地区の訓練で行われた新磯小学校の避難所運営訓練の様子です。



アンケート(50枚)の主な設問の記入数

- \*非常食:全25(半月分・1, 1週間分・9, 3日分・15)
- \*ランタン:26、\*卓上コンロ:28、給水袋:18
- \*転倒防止:食器棚・15、本棚・15、洋・12、テ・8
- \*ガラス飛散防止:食・13 茶・2、本・2、吊り棚・3
- \*ブレーカー遮断装置:23(遮断装置内蔵・10)

大石 努

しました。

19時を過ぎると薄暗くなり照明を付けての先生方の訓練が続きました。上溝にある第「2 ひよこ保育園」は、9月13日と20日の2回に分け日没を考慮して、13時30分から15時まで、園児の昼寝の時間を利用して、先生方の休憩時間に行いました。訓練内容は第3保育園と同じです。第2保育園は、昨年も年も実施しましたが雨天のためテント設営訓練ができなく今年是非との要望があ



りました。テント設営は災害時だけではなく園児の野外活動にも活用できるとのことです。訓練を続けら

れて、安全に心がけ大いに活用されることを望みます。

大石 努

## ひよこ保育園保育士さんの防災研修会

当会の団体会員の社会福祉法人 清水地域福祉奉仕会が運営されている「ひよこ保育園」の保育士さんの防災研修会が行われました。

7月9日は南区の「第3保育園」で園児の保育時間終了後に18時から19時30分まで、先生方総出で仮設テント設営訓練を行いました。



始めにロープの2通りの結び方を、長尺の中心を使う巻結び方(ポール上部)、端部を結ぶ巻結び方(シート下部)を、ロープの張りを調節する自在結びを習得後ブルーシートで3角テントを設営しました。(写真は訓練中・シートのサイズは9m X 7, 2m・3000番、ポールは鋼製の物干し竿)また、物干しロープの結び方として立ち木や柱に結ぶ巻結びとロープの張りを調節する方法を訓練

## 2018年災害ボランティアセンター

### 運営訓練に参加して

7月14日(土)に、市民会館大会議室にて行われた、2018年度の災害ボランティアセンター運営訓練に参加しました。

当日は、9時より会議室内に機材を設置後、「本部・総務渉外」「広報」「情報収集」「被災者対応」「ボランティア対応」の役割毎に、流れに沿った訓練を17時まで実施しました。



災害ボランティアコーディネーター養成講座の講義で、大まかな内容については学んでいました

### 災害ボランティアコーディネーター養成講座

6月16日(土)、17日(日)の2日間、緑区合同庁舎2階情報交換ルームにて災害ボランティアコーディネーター養成講座が介されました。

最近は今まで大きな災害が起こらなところも多数被災しており、各地で災害ボランティアセンターが設置、運営されています。被災状況、人口規模、報道の有無などにより、ボランティアニーズも多様、活動希望者数もばらつきがある中で、災害ボランティアセンターを運営するコーディネーターの役割はたいへん重要です。災害ボランティアセンターでの活動に必要な知識と技術と役割について、多くの方が事前知っておくことで、いざという時に、スムーズな運営につながります。



1日目は、「地震のメカニズム」や神奈川県に想定される地震、「地域防災と災害ボランティアセンターについて」等講義中心に学び、2日目は災

### こどものまち体験参加

8月11日、12日、9時～17時まで相模女子大施設内で「こどものまち体験」が実施されSSVはブルーシートによるミニテントとロープワーク訓練体験で参加しました。

こどものまち体験は、こどもが社会の仕組みを自分達で作成し、体験し仕組みのつながりを知るものです。仕組みは、商店、銀行、警察署、ハローワーク(行政)、税務署等のブースを設置し社会の流れを知ることと、労働に対する対価(仮想通貨)を決め、労働の賃金は1時間分・1労働単位で決めている。

社会の仕組み体験は、ハローワークで

が、今回機材を設置したり、災害時用に備蓄している備品の確認など、実際に「見て」「触って」「動いて」「話して」の訓練は、座学では経験できない貴重なものになりました。



会場が手狭で使用上の制約を受けたり、市社協からの参加者がいないなど残念な面もありましたが、運営の流れと、参加者相互の連携を理解するうえでは、とても大事な訓練だと実感しました。これからも一人でも多くの方に参加していただき運営に携わるものとしての情報を共有していければと思っております。今野 弘栄 災害ボランティアセンターでの活動について想定した演習を行いました。演習では、ボランティアセンター運営に必要な様式等の種類や使用の仕方等の説明後、ニーズ受付やマッチングの実技を実施した。参加者からはニーズ受付用の電話対応のマニュアルなどがあるとよいのではないか、土

地勘のない人が活動先に行く場合の準備について等、具体的な意見や質問が出ました。今回は残念ながらSSVへの入会者はありませんでした。

次回11月開催の際は、SSVのPRなどにも時間を取れると良いのではないかと思います。

本年度2回目の災害ボランティアコーディネーター養成講座は、11月17日(土)、18日(日)あじさい会館にて開催します。

三田 響子

仕事を探し、色々な労働で賃金を得て銀行へ預金し、所得に対して税金の支払い、お金が無くなったらハローワークへ仕事探しに、労働で得た賃金で買物するというシステムを知る、この社会の流れをこども達で行い、催しのスタッフ(大人)は一切口出さず大きく違った場合以外、こどもにお任せで行われる。

次年度も参加するならば時間的には余裕があるので、1時間単位で5～6人単位で受入れし、テント設営訓練まで行えるようにすればよいと思う。

そのためにはSSVの参加者を増員し、指導が出来るようにすればよいと思う。

清水 忠昭

## 中学校・みんないい人体験講座

今年度前期の講座は、大沢中学校と上溝南中学校の2校で行いました。大沢中学校は6月20日1年生各クラスから36名の生徒が参加し災害ボランティア体験を行います。講座の時間は1時間30分で多くの事は出来ません。当日は、雨天のため室内で防災ビデオを鑑賞後、三角巾を使い応急手当での訓練を行いました。三角巾の基本の畳み方に時間を使うので多くの事例は出来ませんが2人組での頭部負傷の手当ての仕方や腕釣り、時間がある時は足の捻挫の固定法などの訓練を行います。生徒は初めての体験なので戸惑いながらも真剣に行っていました。



6月26日は上溝南中学校の出前講座でした。

## 行ってきました。泥出しボランティア (西日本豪雨災害・尾道)

2018年8月17日から19日のボランティアバスで西日本豪雨災害の尾道福地地区に災害ボランティアとして泥出しをしてきました。金曜日の夜7時に横浜駅西口に集合し翌日の朝、現地に到着し9時から作業開始です。午後3時に作業を終了し、バスに乗り日曜日の朝6時に横浜駅到着という日程です。



家屋内の泥出しを見ても災害から40日程経っているのにまだ十分に片付いていない印象を受けました。高齢化による地域力の低下、災害地



当日は晴れて暑い日でした。始めは教室で防災ビデオ15分鑑賞しグラウンドに移動してブルーシートを利用した仮設テントの設営訓練を行います。始めにロープの結び方2通りを習得してから設営訓練を行います、午後から吹き始めた風が強くなってシートが煽られ抑えに苦労しながらロープを結び完成させました。テントの中に入り住み心地や入れる人数、注意事項などを確認後撤収します。教室に戻り2週間前に事前学習のために届けてある教材を基に、災害時の避難順序や活動対応等をアンケートに、記入済の答え合わせを行いました、また昨年まで訓練機材を先生方に搬送していたものを先生の負担軽減のため講師が搬送することにしました。

大石 努

域が限られている、災害ボランティアの少なさなど原因はいろいろです。空いた時間に出来ることを無理なく行動する必要性を改めて感じ、少しでも役に立てたと思いました。

倉島 勝治

## 編集後記

尾道の復旧の遅れの要因を考察する時、被災者のボランティアセンターの認知度不足、センター運営要員不足、広域共助力の低下、災害に対する日常の備えが培われているか受援力が問われる。

毎日のようにメディアに流れる災害情報を見聞きするとき、SSVNも被災地になったときの受援力の構築に努めていきたい。

## 後期の行事(10月1日現在確定のもの)

- ・10月6日:会員スキルアップ研修会
- ・10月25日:大野北中学校出前講座
- ・10月26日:内出中学校出前講座
- ・10月28日:双葉小学校区自主防災訓練
- ・11月17・18日:災害ボランティアコーディネーター構成講座(中央区会場)
- ・11月11日:市民サポートセンターフェスタ

## SSV会員募集!!

相模原災害ボランティアネットワークにはいつでも入会できます。

年会費1口1,000円:個人会員1口以上、団体会員3口以上

お問合先:相模原市社会福祉協議会中央ボランティアセンター内

〒252-0236 相模原市中央区富士見6-1-20 あじさい会館

TEL042(786)6181:FAX042(786)6182